



キミトミライトたより

～6月号～

～ONE ROOF～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を創り出す力を育ていこうという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
目黒三田保育園キミトミライト
〒153-0062 東京都目黒区三田 1-11-26
TEL 03-6412-7181
令和2年6月1日 発行
園長 松山 俊介



新緑の季節となり緑道の木々は美しい緑の姿をみせています。例年なら、新しい環境にも慣れ、子どもたちの賑やかな声が響く園内も、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い自粛となり、園としては少し寂しさを感じています。しかし、各ご家庭にご協力いただき、園児、保護者、職員が命を守る行動、取り組み、姿勢を持ちながら過ごす2ヶ月が経ちました。ご理解、ご協力に大変感謝申し上げます。緊急事態宣言解除後も感染拡大防止のための対策を引き続き行ってまいりたいと思っております。

<健やかに過ごすために…>

園生活においての配慮すべきことは数多くあります。今まで以上にクラスターを防ぐため、3密（密閉・密接・密集）を意識することが必要になります。子どもたちに理解できるような健康教育の実施や、環境設定の工夫をしていきたいと思っております。乳幼児期に養護と教育の両面を提供していく機能を兼ね備えているのが保育園であることを踏まえ、どのような園生活が安全で安心に繋がるかを慎重に考え実践していきます。これからの“新しい生活様式”がどのようになるか見守りながら、各ご家庭にご協力いただく場面もあると思っておりますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

乳児期のアタッチメントの重要性、友だちと関わって遊ぶことの重要性、それらは子どもたちにとって今しかできないことであり、その時々で配慮が必要となることが予想されます。一人ひとりの成長過程を見守り、援助していくことは変わりません。より安全により安心して過ごせる園でありたいと思っております。

<法人の取り組み>

ご協力期間中、第3弾、第4弾と子どもたち、ご家庭に保育の提供としてお送りいたしました「ワンルーフかざぐるま」「いろみずあそび」は、親子でおたのしみいただけましたでしょうか。前月にもお知らせいたしましたが、法人では、社会貢献として職員が手作りで作成したおもちゃのお届け、歌や遊び、食事メニュー作りなどYoutubeやInstagramで配信をしています。

今後ともよろしくお願いいたします。

6月4日は虫歯予防デーです。

子どもの歯は3歳までに20本生えます。5～6歳になると前歯から抜け始め、奥歯に永久歯が生えてきます。歯は一生使うものです。歯を大切にしましょう。

6月の目標

- 歯を大切にする
- 梅雨時期を健康に過ごす

5月の感染症

0名

歯の働き

- 前歯は噛み切る
- 奥歯はすりつぶして唾液と混ぜ合わせる
- 発音に影響する
- 脳の働きを活発にする



虫歯予防

- 子どもにあった歯ブラシを選ぶ
- 磨き残しがないかを確認し、大人が仕上げ磨きする
- 柔らかい食べ物だけでなく、歯ごたえがある繊維の多い食材を食べる
- ダラダラと食べない
- おやつは時間と量を決める

梅雨の時期の注意点

食中毒

- 6月～9月に多く発生します。
- 菌やウイルスを

付けない	手洗いをしてから食べる
増やさない	調理した食事を常温で保管しない（食品の管理）
やっつける	中までしっかり火を通す



事故

- 雨の日に傘をさすことで視界が悪くなる
- 雨で滑りやすく、転倒しやすくなる

風邪

- 汗をかきやすい
- 朝夕に気温が下がりやすい

コロナウイルス感染予防に大切なこと

一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。

(1) 手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒を行う。

帰宅時やトイレの前後、調理の前後、食事前、掃除の後にこまめに手洗いをしましょう。
手洗いする前にスマホを拭いておきましょう。（70%以上のエタノールを含む消毒液）
スマートフォンは食事中には触らないようにしましょう。（お子さまの使用も控えましょう）

(2) 早寝・早起き・朝ご飯を心掛ける。

十分な睡眠とバランスのよい食事を心掛け、免疫力を高めておきましょう。

(3) 適度な湿度を保つ。

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保ちましょう。

(4) 定期的な換気をする。

(5) 人ごみを避ける。

(6) 他の人にうつさないために、咳エチケットをする。



新型コロナウイルス対策～食材の取り扱いについて～

厚生労働省では、2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。コロナウイルスは熱（70度以上で一定時間）及びアルコール（70%以上、市販の手指消毒用アルコールはこれにあたります）に弱いことがわかっています。料理をする際は、こまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。

WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

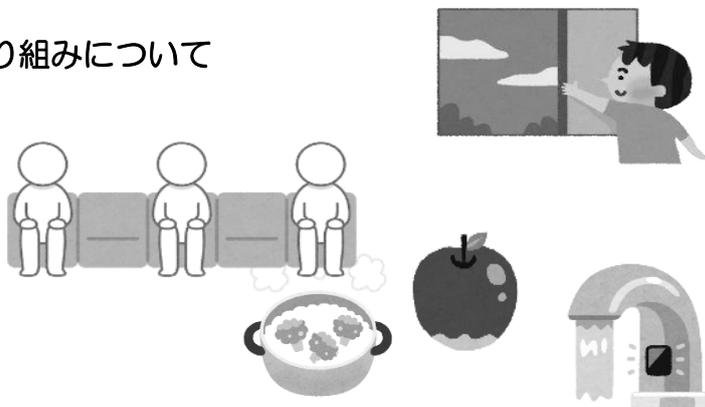
※厚生労働省 HP 参照



園の給食での取り組みについて

- ・ランチルームの換気、消毒、手洗いの徹底、手指消毒
- ・子どもたちが、密にならないように間隔を空けて着席
- ・生野菜の提供中止(一度加熱して提供しています)
- ・果実提供の際は、流水で十分に洗浄してからの提供

※当面の間、食育活動は中止



子どもたちの口の中が大変なことになっている？

～歯と歯の間に“すき間”が必要～

近年、「歯並び」に関する通院患者が増えているといわれています。歯列を含めた口や顔、顎の成長不足で歯並びが悪くなり、大人になった時に歯周病の発症率が上がってしまいます。正常な歯や顎の発達のためには、乳歯の時期に“すき間”があることが大切です。

乳歯よりも大きい永久歯が生えてくるためには、上顎の乳歯と永久歯の大きさの差は平均 7.66 mm 必要と言われています。不足すると、歯並びが悪くなってしまいます。



すき間が8mm以上
あると良い！



乳歯から永久歯



では、永久歯が生えそろう6～7歳までに、乳歯にすき間ができるかはどうやって決まるのでしょうか？歯列の成長には「噛む」という運動が必要です。細かく刻まれた柔らかい食べ物ではなく、歯列や顎に負荷がかかる硬さの物、前歯でかぶりつくような食材を食べることが大切です。ご家庭でも子どもたちの口の中の成長を確認して、歯や顎を使って“よく噛んで食べる献立”を積極的に取り入れてみて下さい。

※乳児は各年齢に合わせて、食材の大きさや提供方法に配慮しましょう。